学校創立１４１周年

百年松

阿木名小中学校便り　令和３年５月１７日発行

◇ 校訓「かしこく　やさしく　たくましく」

あ 明るく元気なあいさつができる子ども
ぎ ぎりぎりまであきらめず努力する子ども
な 仲よく笑顔いっぱいの子ども

～花いっぱい，元気いっぱい，笑顔あふれる阿木名っ子～

阿木名小中学校

～基礎は見えない～

校長　井上　泉

新学期がスタートして１ヶ月が過ぎました。子どもたちも学年がそれぞれ進級し，気分も新たに頑張っています。これからも，いろいろなものをたくさん吸収して，どんどん大きくなってほしいと思います。

また，先日の学級PTAやPTA総会等へのご協力，ありがとうございました。依然として，新型感染症コロナウイルスの感染拡大が心配されますが，学校でも感染症の予防には十分気を付けて参ります。ご家庭でも，感染症予防にご協力をお願いします。

さて，大きな建物の基礎工事を見たことがありますか。その工事は，私たちの予想をはるかにこえる，基礎となる杭を何本も地中深く打ち込みます。しかしその基礎の杭は表には見えないものです。基礎工事がしっかりしているものは建物が頑丈で風雨に耐えることができます。

人間で言う基礎工事は，社会に出るまでの義務教育（小中学校），高校などで体験する全てのことと私は考えています。もちろん，社会に出てから学ぶものもありますが･･･。

子どもたちは生まれてから家族に守られ，自分中心だったところから，幼稚園や学校で学び，自分以外の人との交流や様々な考えの人との交わりを体験します。思ったようにいかないことや，一人ではできないこと，嬉しいこと，つらいことなど多くのことを体験し，人間としての土台を築いていきます。

社会に出れば自由な行動を手に入れることはできますが，それと同時に「責任」という荷物を背負うことになります。でもそれは基礎がしっかりしていれば，決してくずれず自分自身を支えてくれます。

これから子どもたちが体験するであろう，楽しいこと・難しいこと・我慢すること・協力すること・悲しいこと・恥ずかしいこと・叱られること・人に言えない情けないこと・泣いたこと・痛かったこと･･･すべてが基礎となるからです。その体験が多い人ほどたくましい基礎になるのです。

そしてありがたいことに，人に言えない恥ずかしい，情けない，痛い，悲しい体験はいつのまにか時間が忘れさせてくれ，人間の「優しさ・強さ・思いやり」の基礎となります。これが建物の基礎が見えないのと同じ事で，人間の基礎も人には見えないものなのです。ですから子どもたちにはいろいろな体験も恐れず，どんどんチャレンジし，たくましく大きな基礎を作ってほしいと願います。